



学校だより

令和 6 年 5 月 吉日
上越市立有田小学校
校長 野田 晃

安心と勇気と自信

朝、元気な挨拶が響きます。笑顔で挨拶する子がとても多いです。特に、今年入学した1年生。真っ直ぐ私の目を見て、ニコニコしながら大きな声で挨拶をしてくれる子が多いです。思わず私も笑顔になり、ハイタッチして挨拶を返します。もちろん1年生だけでなく、他の学年の子どもたちも元気のよい挨拶をする子が増えました。高学年の中には、堂々とした態度で会釈をする子もいます。大人になってきました。毎朝、子どもたちに元気を配るつもりで挨拶をしていますが、子どもたちの笑顔からエネルギーをたくさんもらっているなあ、と思います。勇気や元気をもらっています。倍にして返したいものです。

朝の挨拶がとてもよいのは、毎年、各学年・学級で挨拶に取り組んできた成果、「あいさつ日本一になろう」と子どもたちに呼びかけたことなどの効果もあると考えます。しかし、一番、子どもたちに影響しているのは、保護者の皆さんの働きかけなのだと思います。

子どもたちが朝から笑顔で挨拶できるのは、朝、気持ちよく目覚めることができたからでしょう。朝ごはんをおいしく食べてきたのでしょう。子どもが起きたとき、保護者の皆さんが笑顔で挨拶をしてくれているのでしょう。そして、子どもたちに、あたたかい言葉、元気が出る言葉、勇気が出る言葉をたくさん伝えてくださっているのだと思います。言葉でなくても、お父さんやお母さんと笑顔でハイタッチしたり、ぎゅっとハグしたりしてから家を出る子もいるのでしょう。朝、玄関前で、お父さんやお母さんが子どもにハイタッチする姿や笑顔で手を振り合う姿をよく見かけますから。言葉より大切かもしれません。

お家の人からの愛情あふれる言葉や行為は、子どもに安心と勇気と自信を育みます。学校は、よいことだけ起こることはありません。勉強がよくわからないこともあります。友達とけんかしてしまうこともあります。嫌いな食べ物が給食にでることもあります。先生に叱られることがあります。やりたくないこともしなければならぬこともあります。時には、理不尽なこともあるでしょう。そんなとき、何があろうとも愛してくれる家族がいることは、つらいことや嫌なことに立ち向かう勇気の源になります。そして、様々な困難に自分で乗り越えたとき、自信が育まれていくのだと思います。「自分はできる」「自分は乗り越えられる」「きっと、うまくいく」という自信です。

自信は、親が子どもの困難を取り除くことでは育むことができません。勉強も運動も人間関係の問題も、親が代わりにしてあげても、子どもの本当の力にならないからです。親は、子どもを信じ、子どもが大海に乗り出したとき、いつでも安心して戻ることができる港であることが大切だと考えます。チャレンジする勇気、揺るがない自信を育てるためには、です。

もうすぐ、運動会です。競技や応援の練習に力が入ります。全力で走る姿、友達と力を合わせて取り組む姿、清々しいです。応援団は開閉会式の練習や各学年の教室に行き応援の指導をしています。少し照れながらリーダーシップを取ろうとする姿、初々しいです。

今年も素晴らしい運動会になりそうです。ぜひ、子どもたちの雄姿、ご覧いただけたら幸いです。また、ご協力やご支援もよろしくお願いいたします。